

授業科目名	日本史		担当教員名	佐伯 智広		
科目区分	単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態	
教養教育科目	選択	2	1～4	春・秋学期	木・3	講義
授業概要						
<p>自国の文化や海外の文化を理解するためには、まず私達たち自身の歴史を知り、文化の起り・移り変わり・成り立ち・特色について考えることが欠かせません。また、観光資源として史跡や文化財を活用するためには、正しい歴史知識が必要です。この講義では、そのための歴史の基礎知識を学んでいきます。</p>						
到達目標						
<p>①日本文化の起源・変遷・特色についての、歴史的な基礎知識を身に付ける。</p> <p>②観光資源としての史跡や、それにまつわる歴史についての知識を身につける。</p> <p>③上の2点について、自分できちんと説明できる能力を身につける。</p>						
授業方法(展開)						
<p>授業は講義形式です。文化と宗教を中心に、歴史の流れを時代ごとに取り上げます。過去の歴史と現在の私達を結びつけるものとして、現代に残る建築物・文化財・史跡について知ること、歴史的な文化や宗教が私達の生活に与えている影響について考え、大きな歴史の流れが理解することができるでしょう。</p>						
関連科目・知識・スキル						
<p>日本以外の歴史や文化の講義もあわせて取ると、より面白く感じられると思います。</p>						
成績評価						
<p>成績評価は試験形式（選択式と記述式の混合）で行います。</p> <p>授業態度等は試験の成績に加味されます。</p>						
教科書・参考書など						
<p>教科書は特にありません。必要な資料は毎回講義の際に配布します。また、参考文献は講義の中で適宜知らせます。</p>						
履修上の注意事項						
<p>5月に1度現地見学がありますので、その分の交通費が必要です。見学先は第一回の講義のアンケートで決めますが、これまでの見学先は神戸市内で、交通費はポータライナーの乗車賃程度でした。</p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

- 第一回 オリエンテーション 観光と歴史の接点
- 第二回 飛鳥時代 一仏教伝来一
- 第三回 奈良時代 一仏教興隆一
- 第四回 平安時代前期 一仏教再編一
- 第五回 平安時代中期 一消化と吸収一
- 第六回 平安時代後期・鎌倉時代前期 一地方への拡大一
- 第七回 鎌倉時代後期 一異端の力一
- 第八回 南北朝時代・室町時代 一京都への回帰一
- 第九回 戦国時代・安土桃山時代 一力と平和一
- 第十回 江戸時代前期・中期 一天下泰平一
- 第十一回 江戸時代後期・末期 一世界的激動の中で一
- 第十二回 明治時代 一西洋文明との出会い一
- 第十三回 大正時代・戦前 一植民地時代の光と影一
- 第十四回 戦後 一高度経済成長と現代一

※5月に一度現地見学を行います。見学先は第一回のオリエンテーションの際にアンケートを実施し、その結果を考慮して決定します。

学生への一言

教科書で勉強する高校の日本史とは違って、大学での講義はきゆうくつな枠組みはありません。ただ過去の歴史を追うのではなく、現在に残る遺跡・遺物・建築・美術工芸品などを紹介したり、歴史を題材にした文学作品・マンガを取り上げたりしながら、現代の私達にとって歴史が持つ意味についても、自由に考えていきましょう！

また、最新の学説なども紹介していくので、研究の最先端で教科書が書き換わっていく面白さも知ってもらいたいと考えています。